

平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西成区
学校名	大阪市立新今宮小学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・大阪市立新今宮小学校では、第6学年 55名

平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平成27年4月に開校した本校にとって最初の全国学力・学習状況調査であり、これから本校が取り組んでいくうえでの基準となる調査であると考えることができる。主に萩之茶屋、今宮、弘治の3小学校からの児童が集まって、学習を始めたところでの結果である。これまで3小学校が取り組んできたものを受け継ぎながら、新今宮小学校としての新しい取り組みも加えながら、いまみや小中一貫校としての教育を確立していく必要があると考える。今回の結果の詳細については添付資料に譲るが、国語の応用と算数の記述式、理科に至っては全般的に苦手な傾向が伺える。基礎はできつつあるが、発展・応用の力をつけていく必要がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 国語では、基礎的な部分では特に「話すこと・聞くこと」に課題があり、発展・応用面では全般的に低い傾向にある。論理的に考え、それを説明するタイプの回答では非常に課題がある。児童質問紙で、「自分の考えを発表する機会が与えられていたか」「学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行ったか」などでは肯定的回答が多かったが、その中身について充実を図る必要がある。加えて日常の言語環境の充実が必要ではないかと考える。

[算数] 簡単な計算などについては、一定の成果が見られたが、発展・応用が苦手のようである。国語の課題ともつながるが、論理的な思考が苦手な傾向にある。論理的なものも簡単なものはできているようなので、要は落ち着いて取り組むなど練習量の問題である。

[理科] 理科においても、正答率の低かった問題はおしなべて論理的に考えて、理由を答えるなどの問題が苦手であるようだ。理科については、基本的な部分の定着にも課題が見られる。

質問紙調査より

統合した3小学校の共通の問題点として、質問紙の1「朝食を毎日食べていますか」の「している」の回答が低いことにある。また、3「毎日、同じくらいの時間に起きていますか」でも肯定的回答は低めで、家庭の協力の必要性を痛感する。しかしながらではなぜ起きるのが遅いのかというと、1・2「一日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、ネットをしていますか」で4時間以上の回答が全国のほぼ倍もある。寝るのが遅くなり、寝坊する。あるいは授業中眠くなるのは当然の帰結である。家庭との連携は非常に重要である。一方で、4「最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」や5「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しますか」では肯定的回答は全国、大阪府なども上回り、「あてはまらない」の回答が0%で、頗る嬉しい限りである。それ故、学校での授業や学習についてしっかりと定着させていくことで学力を伸ばせる余地はあると考える。今回の結果でも出ているように、習熟度別少人数学習は基礎力を支えて来たと考えられる。本校ではICTを使った教育も推進していくところであり、言語力や論理的思考の育成を更に進めていく。1・7「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために学校の図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」では「だいたい週に4回以上」の回答が全国、大阪府の3倍以上である。本校では司書が常駐し、日常的にいつでも図書館に行ける状況にあり、功を奏していると考えられる。

今後の取組

上の成果と課題で見えてきたように、本校児童の学力的な面においては、基本的な部分はできてきているが、更に充実させることと、言語力や論理的思考力の育成が必要である。そのために、学習教材データ配信を更に活用して、基礎の定着を図り、ICTを活用した教育を推進し、アクティブラーニングを進めながら、思考力、判断力、表現力に磨きをかける。また、理科については、小中一貫校の特色を活かして、中学校の理科担当との連携を強化し、観察・実験活動の充実を図りながら学力の向上に努める。これは理科にとどまらず、小学校、中学校の教科指導連携を進めていく。

【 全体の概要 】

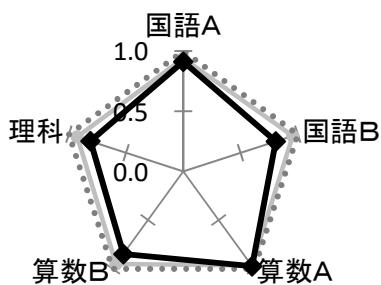
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	63.9	52.9	73.2	38.2	49.4
大阪市	65.7	62.5	72.8	42.8	56.3
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8

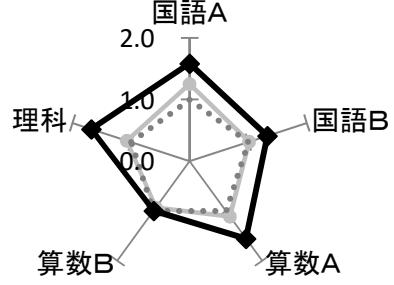
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	5.7	8.1	2.8	9.1	5.4
大阪市	4.5	6.2	2.0	8.5	3.4
全国	3.6	6.1	1.8	9.1	3.2

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



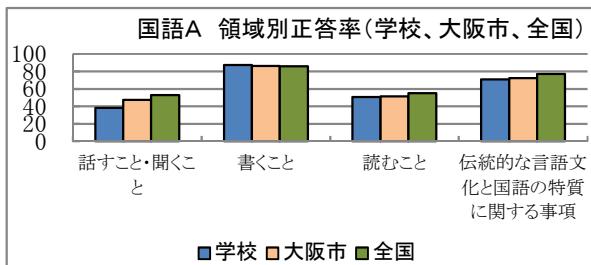
【 国 語 】

A 問 題

平均正答率(%)

学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	学校	大阪市	全国
		学校	大阪市	全国
書くこと	1	38.2	47.4	53.0
読むこと	1	87.3	86.2	86.0
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	50.5	51.3	55.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	70.9	72.3	77.2



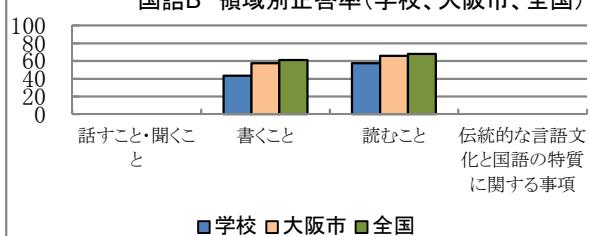
B 問 題

平均正答率(%)

学校 大阪市 全国

学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	学校	大阪市	全国
		学校	大阪市	全国
書くこと	—	—	—	—
読むこと	6	43.3	57.5	61.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	6	57.6	65.6	68.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

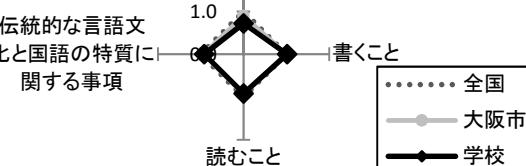
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)

話すこと・聞くこと

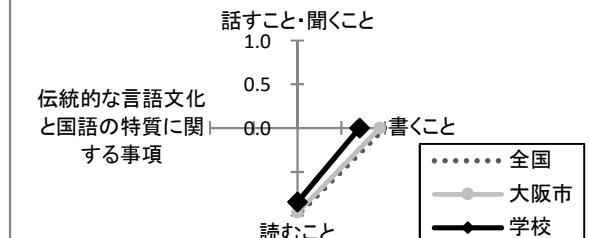
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項



国語B 領域別正答率(対全国比)

話すこと・聞くこと

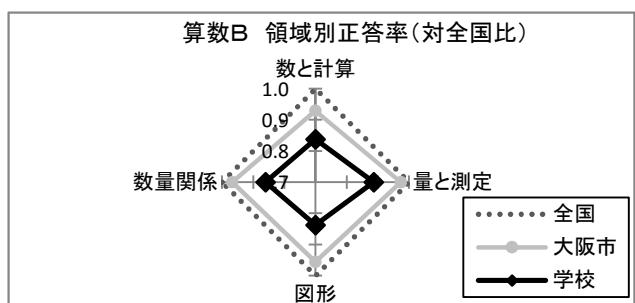
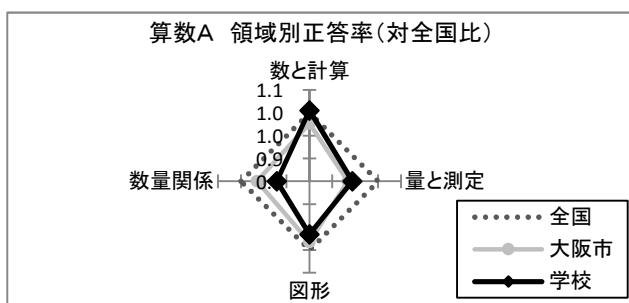
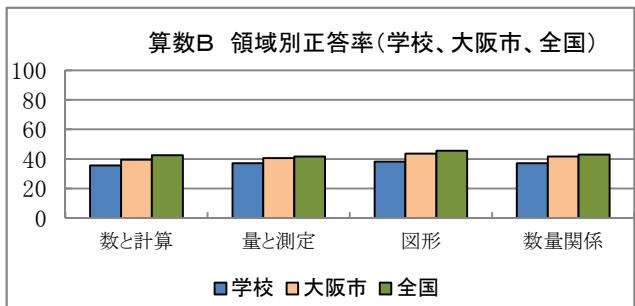
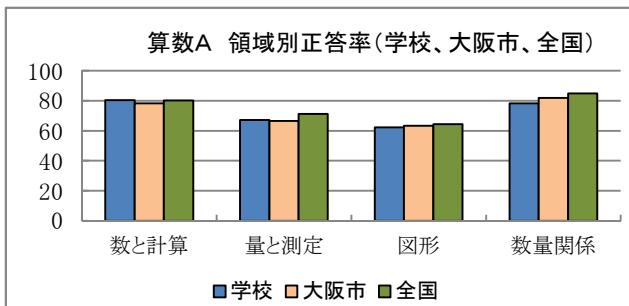
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項



【 算 数 】

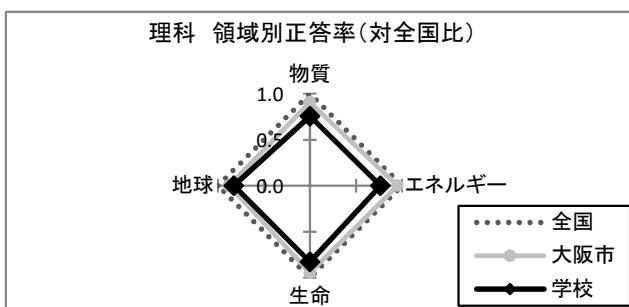
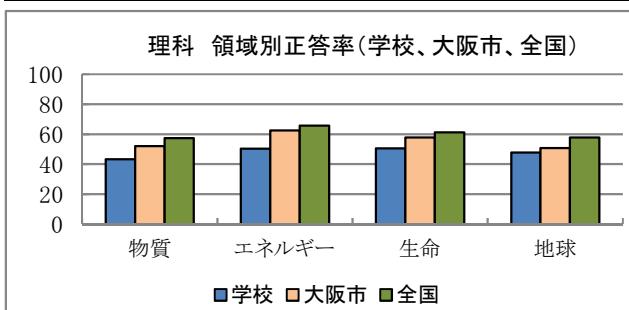
A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	7	80.5	78.2
	量と測定	3	67.3	66.6
	図形	4	62.3	63.4
	数量関係	2	78.2	81.9

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	4	35.5	39.4
	量と測定	3	37.0	40.6
	図形	7	38.2	43.6
	数量関係	3	37.0	41.6



【 理 科 】

		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	物質	7	43.4	52.1
	エネルギー	6	50.3	62.4
	生命	6	50.6	57.8
	地球	7	47.8	50.8



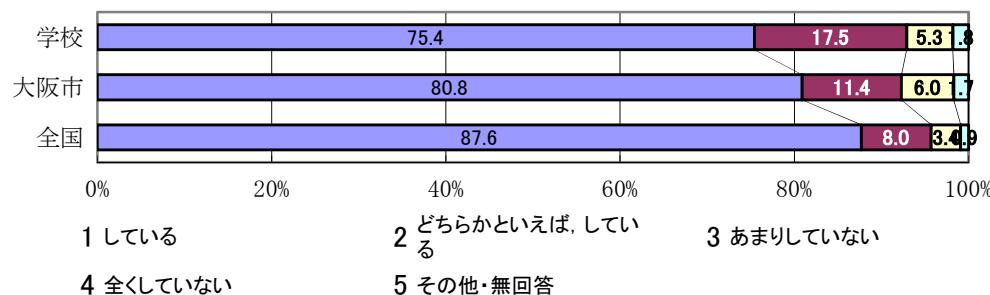
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号
質問事項

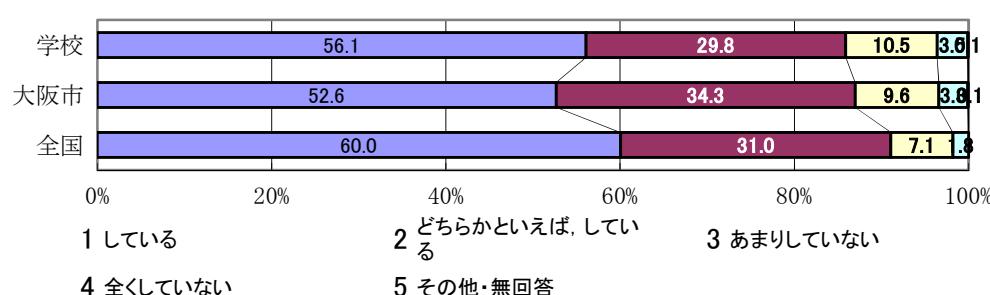
1

朝食を毎日食べていますか



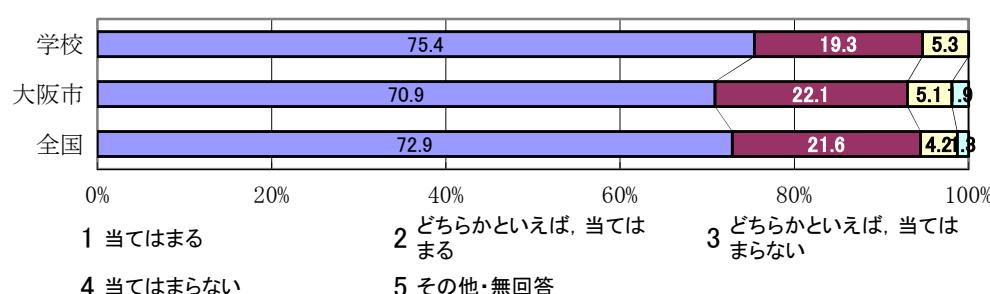
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



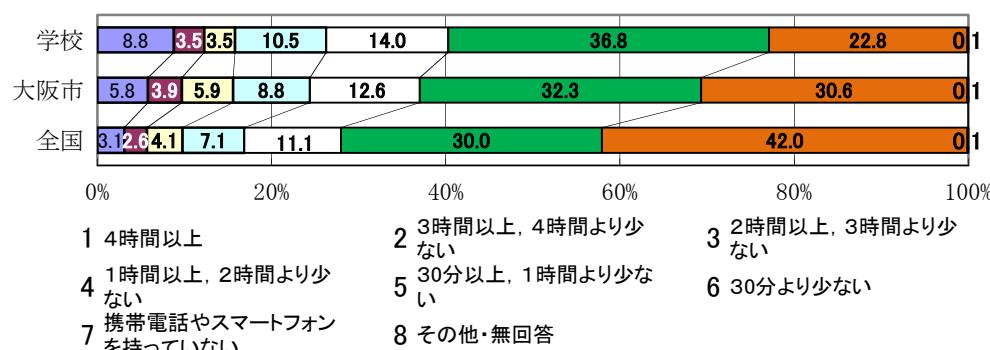
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



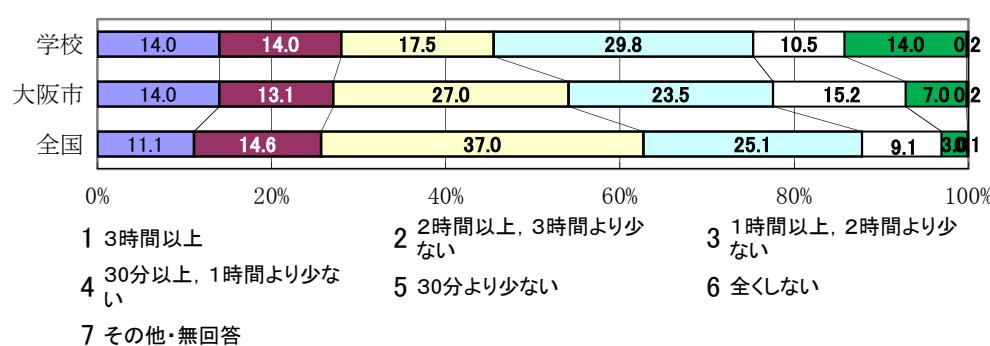
12

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



13

学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



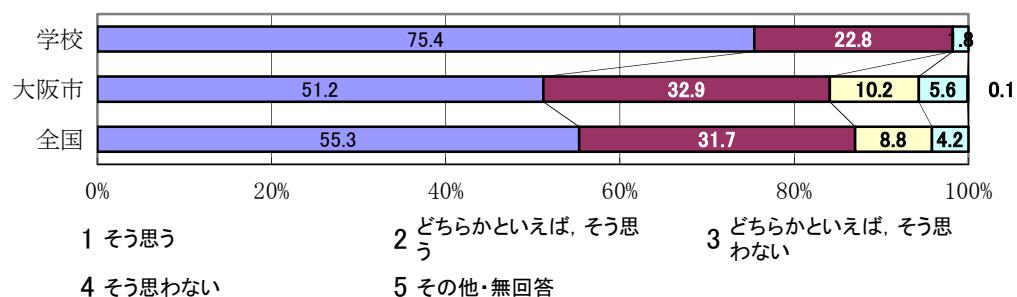
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9

質問番号
質問事項

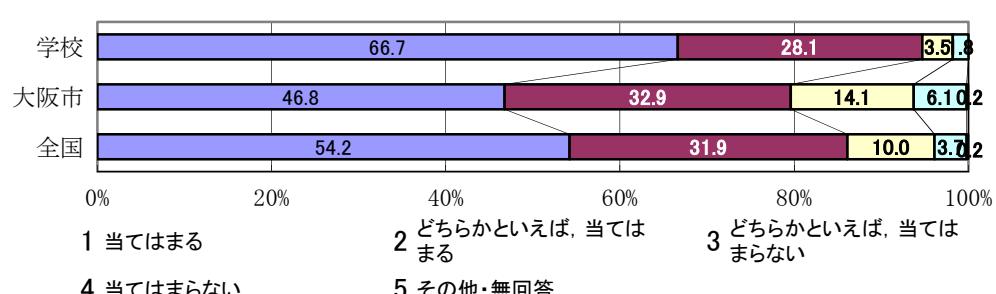
24

学校に行くのは楽しいと思
いますか



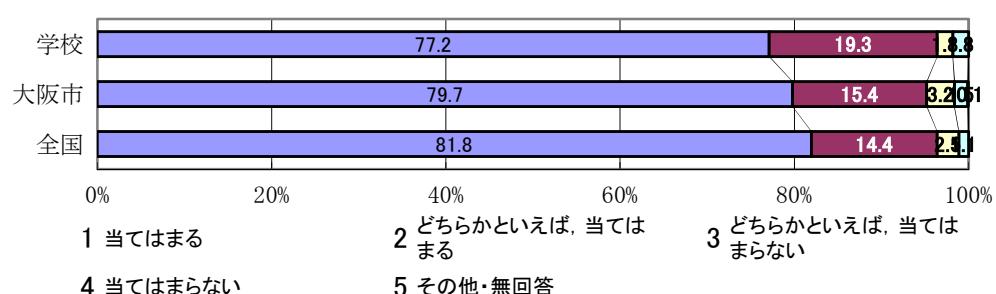
26

学級みんなで協力して何か
をやり遂げ、うれしかったこ
とがありますか



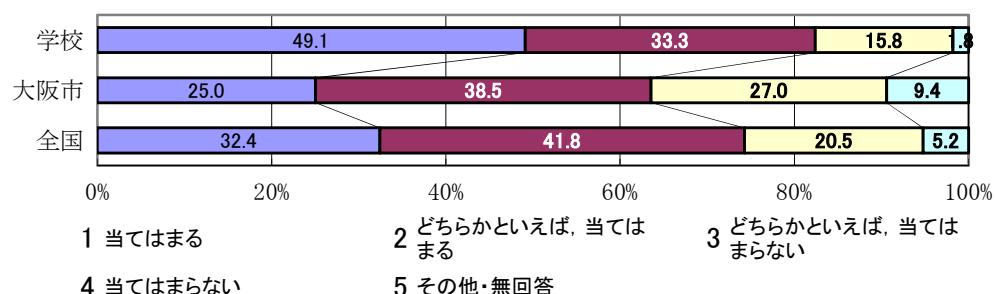
34

いじめは、どんな理由が
あってもいけないことだと思
いますか



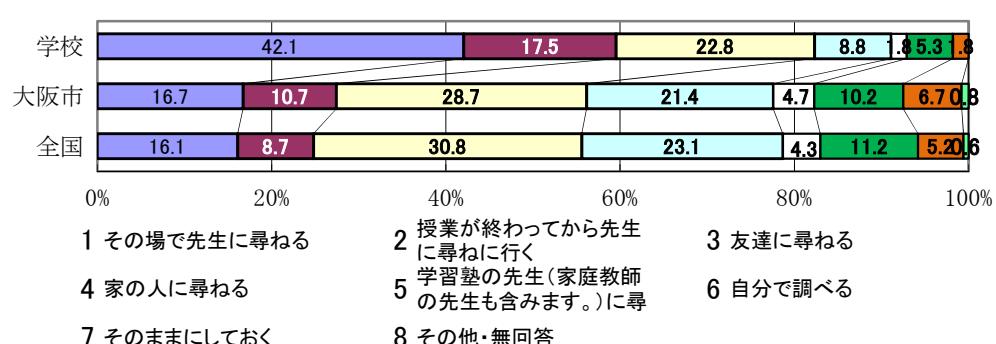
40

5年生までに受けた授業で
は、学級やグループの中で自
分たちで課題を立てて、その
解決に向けて情報を集め、話
し合いながら整理して、発表す
るなどの学習活動に取り組ん
でいたと思いますか



47

授業の中で分からな
いことがあつたら、どうする
ことが多いですか



学校質問紙より

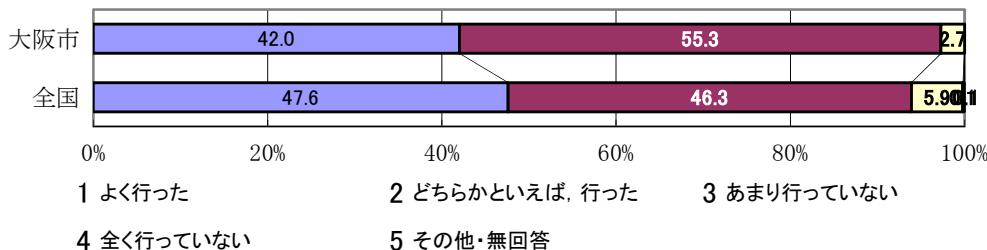
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

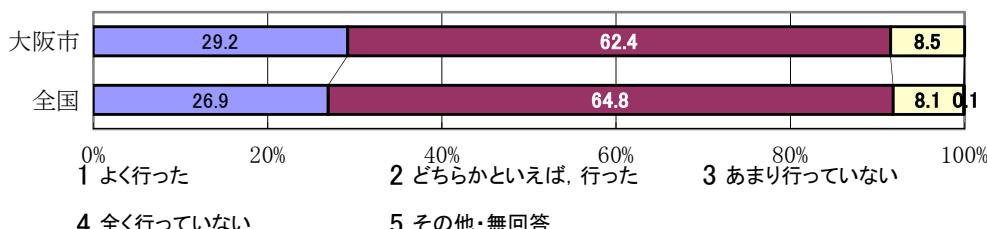
学校 「よく行った」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

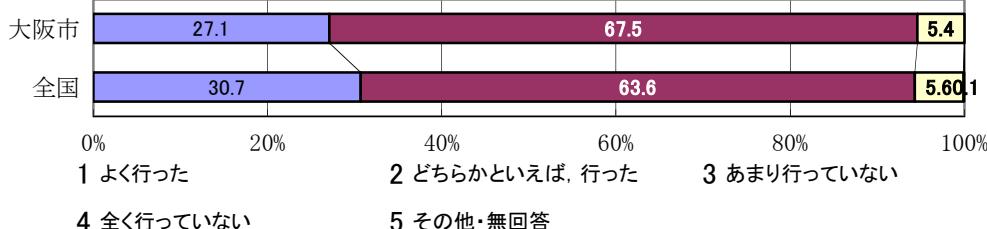
学校 「よく行った」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

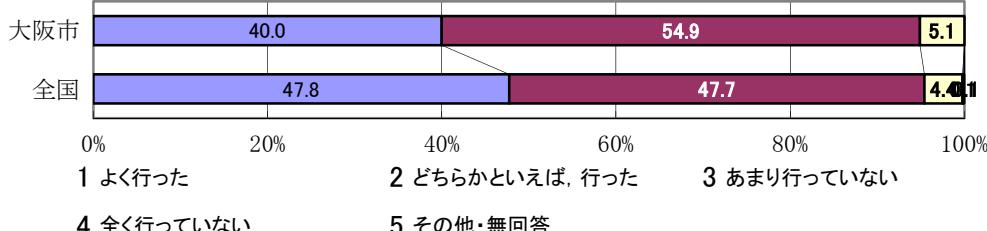
学校 「よく行った」を選択



35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

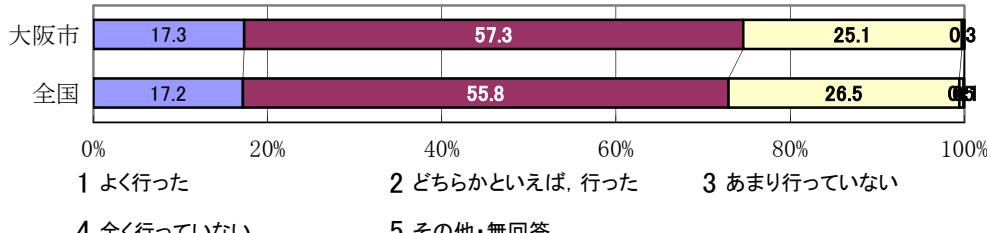
学校 「よく行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校質問紙より

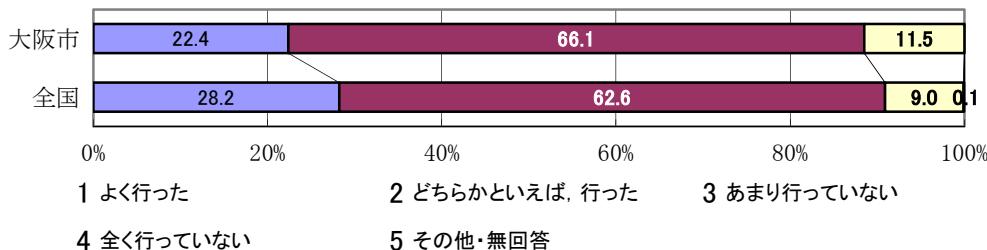
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

38

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか

学校 「よく行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか

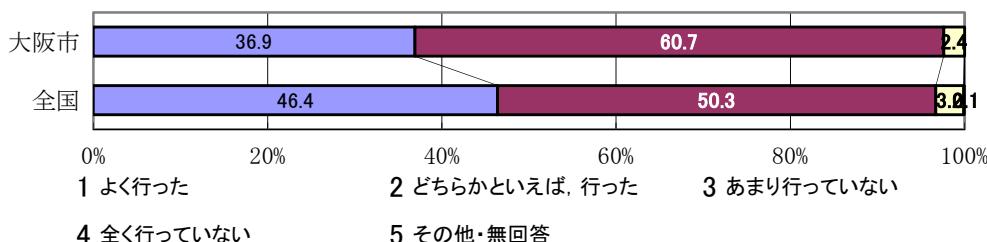
学校 「よく行った」を選択



43

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか

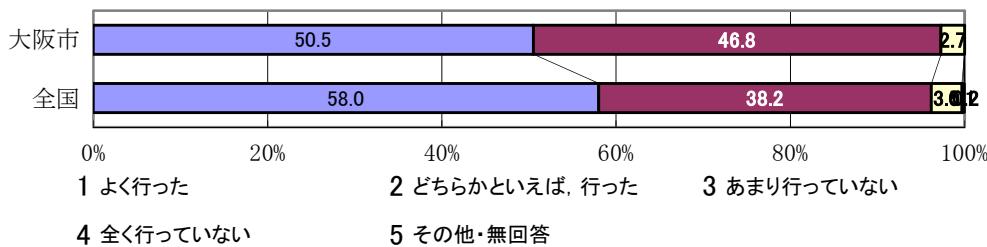
学校 「よく行った」を選択



44

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか

学校 「よく行った」を選択



46

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

